



大平台だより



Oohiradai Newspaper 「ほんき・やるき・げんき」全校児童数48名

合い言葉は・・・「やってみよう！」

令和6年度 米沢小学校学校教育目標

ほんき やるき げんき のある子ども

「心身ともに健康で自ら考え正しく判断する実践力のある児童の育成」

学校の八重桜が満開となり、校舎の北側の薔薇も薄桃色のきれいな花を付けました。大平台に春が訪れ、令和6年度がスタートしました。

今年度は、「やってみよう！」を合い言葉にしました。WANIMAの歌「やってみよう」の中にある「はじめよう やってみよう 誰でも最初は 初心者なんだから やったことないことも やってみよう」「恐れず 迷わず 同じ今日という日は 二度とないんだから」「思い立った日が 思いついた日が そこが スタートだ」の歌詞が私は好きです。何事にも「ほんき・やるき・げんき」で前向きに挑戦していく・・・そんな子どもたち、教職員集団でありたいと思っています。

今年度も保護者・地域の皆様方にはお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

教職員の異動について

お世話になりました。

よろしくお願いします。

【退職・転出職員】

教員 奥村恵美子（退職）
米川 洋子（香取市立北佐原小学校へ）
佐々木しのぶ（香取市立わらびが丘小学校へ）

【転入職員】

教員 吉田 理（成田市立久住小学校より）
浜田 恵子（香取市立瑞穂小学校より）
萩原 美海（多古町立中村小学校より）

藍染めTシャツづくりでつながり・・・ 思わぬ贈り物が届きました！

4月3日の読売新聞「SDGs@スクール」のコーナーで米沢小学校の取組が紹介されました。5月19日の神崎発酵マラソンの参加賞である藍染めTシャツ作りを子どもたちにもぜひとも経験させ、町のために活動できたという自己有用感をもつことができ、ふるさとを愛する気持ちを育めたと感じています。

4月8日にこの新聞記事を読まれた福岡県の境賢悟様から手作りの紙靴が届きました。小さな色とりどりの紙靴は、SDGsの17項目のマークが貼ってあり、きれいなケースに入れられていました。

手紙には、丁寧な文字でこう書かれていました。
「SDGsに取り組まれている皆さんに心を込めて作りました。この『SDGs@スクール』のシリーズが続く限り学校への送付を続けてみたいと思っています。（中略）校長先生からオジさんも頑張り、応援しているからみんなも頑張るようにお伝えください。」境さんは、これまでに、横浜や富山



玄関前に展示中

の小学校にも同様にケース入りの紙靴を贈られているそうです。思わぬつながりができたことをとてもうれしく思います。これからも米沢小の取組を広く発信していければと思います。素敵なこの贈り物は、玄関前に展示してあります。来校の際には、ぜひご覧ください。

4月3日の記事は、インターネットでもご覧になれるようになりましたのでご案内いたします。新聞に載っていない写真も掲載されています。

→読売新聞教育ネットワーク <https://kyoiku.yomiuri.co.jp/sdgs/contents/pr-1.php>

※「読売新聞教育ネットワーク」を開き、サイト内検索で「米沢小」と入れると1件ヒットし、クリックすると記事が表示されます。

境さんのこの取組についての記事も掲載されています。記事によると、厚紙で作った靴型に、チラシや包装紙などの「端切れ」を使って模様を付けたもので、透明のケースも廃材を利用して作られているということです。

→読売新聞教育ネットワーク ※「記者のひとりごと」のバナーをクリック！

<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/sdgs/jibun/contents/post-827.php>



4月10日、16名の1年生が入学しました。みんな元気いっぱいやる気に満ちあふれています。米沢小は、これで児童数48名となりました。子どもたちに関わる教職員は、19名。これからどんなことが起こるのか、わくわくします。失敗を恐れず、みんなで頑張ります！

令和6年度 このメンバーでがんばります！

校長	飯島 純子	ふれあい	小山 茂雄
教頭	木内 勝己	養護教諭	相川 里恵
教務主任	篠塚 崇	事務職員	金須 未佳
なかよし		用務員	石橋 邦子
1年	大木 優未	理科専科・支援員	増田 正之
2年	萩原 美海	施設管理	川上 俊雄
3年	浜田 恵子	外国語補助教員	川上みちよ
4・5年	吉田 理	外国語補助教員	釜津田ジセラ
少人数(4年)	富塚 誠	スクールサポートスタッフ	林 怜菜
6年	川口 耕司	スクールカウンセラー	関根 宏守

